

生きる力を育てる絵本・ 子どもが絵本と出会うとき

～モーリス・センダックが遺したもの～

21世紀に入り、あふれる情報の中で、子どもたちはさらに困難な時代を生きています。そんな子どもたちにとって、「本」はどんな役割を果たしているのでしょうか。本の力そして図書館が果たす役割について、センダックの作品をヒントに考えていきたいと思います。

講師 有山 裕美子 先生

東京都武蔵野市出身

工学院大学附属中学校・高等学校国語科教諭・
司書教諭 都留文科大学、法政大学、筑波大学
非常勤講師。

大学卒業後、公立小学校の教員に。出産を機に
退職し育児中に通信教育で司書と司書教諭の
資格を取得する。 8年半の公共図書館非常勤
職員を経て現職。

専門は児童文学（モーリス・センダック研究）



日時：7月27日(土) 13時開場 13時30分開演

会場：松本大学 8号館 811教室

お申し込み：松本大学図書館 電話またはメールでお申し込みください

TEL：0263-48-7206

MAIL：tosho@t.matsu.ac.jp